

参 加 者 紹 介

基 調 講 演

パトリック・クロニン（Patrick Cronin）

現 職：CSIS上級副所長

略 歴：英国オックスフォード大学（博士）。米国国際開発庁（USAID）長官補（政策及びプログラム調整担当）、米国平和研究所（USIP）研究部長、米国国防大学国家戦略研究所副所長兼研究部長。

著 書：『日米同盟－米国の戦略』、*Effective Planning for Conflict Prevention and Management; Passing the Baton: Lessons of Statecraft for the New Administration; Adapting to the New National Security Environment* ほか

特 別 講 演

渡 邊 昭 夫（わたなべ あきお）

現 職：（財）平和・安全保障研究所理事長

略 歴：東京大学文学部卒業、同大学院人文科学研究科修士課程修了。東京大学教養学部教授を経て、青山学院大学国際政治経済学部教授、2000年より現職。

著 書：『アジア・太平洋の国際関係と日本』、『日本の近代 8 大国日本の揺らぎ—1972～』、『戦後日本の宰相たち』（編集）ほか

報 告 者（発表順）

マイケル・ブラウン（Michael Brown）

現 職：米国ジョージタウン大学エドマンド・A・ウォルシュ・スクール教授

略 歴：コーネル大学（博士）。英国国際戦略問題研究所（IISS）上級フェロー、『サバイバル』誌編集、ハーバード大学J.F.ケネディ・スクール国際安全保障プログラム副部長等を経て現職。

著 書：*Flying Blind: The Politics of the U.S. Strategic Bomber Program*；*Ethnic Conflict and International Security, The International Dimensions of Internal Conflict, and Grave New World: Global Dangers in the 21st Century*(ed.); *The Costs of Conflict, Government Policies and Ethnic Relations in Asia and the Pacific, Fighting Words: Language Policy and Ethnic Conflict in Asia*(co-ed.).

アレクサンドル・ピカーエフ (Alexander Pikayev)

現職：露国世界経済国際関係研究所軍縮・紛争解決部長

略歴：モスクワ国立大学（政治学修士）、世界経済国際関係研究所（博士）。同研究所
軍備管理・不拡散部長、ロシア国会防衛委員会副議長室首席顧問、同アドバイザー等を歴任。

著書：*The Chemical Weapons Convention in Questions and Answers (in Russian);
Eliminating a Deadly Legacy of the Cold War: Overcoming Obstacles To Russian
Chemical Disarmament* ほか

ヒョン・インテク (玄 仁澤)

現職：韓国高麗大学政治外交学科教授、イルミン国際関係研究所長

略歴：高麗大学学校（国際政治修士）、米国カリフォルニア大学ロサンゼルス校（国際政治博士）。世宗研究所上級研究員を経て、現職。韓国国家安全保障会議諮問委員会、外交通商部諮問委員会委員、アジア太平洋安全保障協力会議（CSCAP）信頼・安全保障醸成措置（CSBM）作業部会共同議長を兼任。

著書：『国際政治学の新しい領域と争点』、『韓半島冷戦構造解体課程での南北韓軍費統制方案』 ほか

佐藤 丙午 (さとう へいご)

現職：防衛研究所研究部第5研究室主任研究官

略歴：筑波大学第1学群人文学類卒業、ジョージワシントン大学（修士）、一橋大学（法学博士）。平成12年防衛研究所第2研究部第1研究室主任研究官、平成16年より現職。

著書：『脱冷戦後世界の紛争』（共著）、「なぜ多国間主義か？」 ほか

マイケル・リチャードソン (Michael Richardson)

現職：シンガポール東南アジア研究所上席客員研究員

略歴：英国オックスフォード大学卒業。エイジ紙、シドニー・モーニング・ヘラルド紙東南アジア・南アジア特派員、インターナショナル・ヘラルド・トリビューン紙上級アジア・太平洋特派員を経て現職。

著書：*A Time Bomb for Global Trade: Maritime-related Terrorism in an Age of Weapons of Mass Destruction.*

ジョリオン・ハワース (Jolyon Howorth)

現職：イェール大学政治科学部客員教授、バース大学欧州学部教授

略歴：マンチェスター大学卒業、レディング大学（歴史学博士）。バース大学欧州学部教授（仏文化、欧州政治学）。ハーバード大学、パリ政治学院、ニューヨーク大学、コロンビア大学等の客員研究員、客員教授を経て現職。

著書：*Defending Europe: the EU, NATO and the Quest for European Autonomy (edited with John T.S. Keeler)*; *European Integration and Defence: the Ultimate Challenge?*; *The European Union and National Defence Policy, (edited with Anand Menon)*.

議長

近藤 重克（こんどう しげかつ）

現職：防衛庁防衛研究所統括研究官

略歴：京都大学卒業、防衛研究所第1研究部第1研究室長、大阪国際大学教授、防衛研究所第1研究部長、2004年より現職。

著書：『ブッシュ政権の国防政策』（編集、共著）ほか

第2期ブッシュ政権安全保障政策と世界
平成16年度安全保障国際シンポジウム報告書

発行日 平成18年1月20日
編集・発行 防衛庁防衛研究所

〒153-8648 東京都目黒区中目黒 2-2-1
電話 03(3713)5912

ISBN 4-939034-27-5

© 無断転載を禁ず